



親園小だより

和

No.11

令和3年2月25日

親園小学校長 白石 一成

教育目標 自然と文化を愛し、心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。 ○自ら学ぶ子ども ○心豊かな子ども ○心身をきたえる子ども

震度5弱

2月13日の11時7分に大きな地震がありました。東日本大震災の余震ということですが、揺れの長さや揺れ方は、あの日を思い出させました。親園小には大きな被害はありませんでしたが、お隣の佐久山小学校や湯津上中学校では、大変だったようです。15日に登校してきた児童たちに家の様子を聞きましたが、「ものが倒れた」という答えが半数ぐらいありましたが、大きな被害が出たという答えはありませんでした。

3月11日が近づくにつれ東日本大震災がテレビや新聞に取り上げられています。あれから10年が経ちます。相次ぐ余震に不安で泣いていた子、生まれて間もない子、地震直後の混乱の中で生まれた子、まだお母さんのお腹の中にいた子、親園小の多くの子どもたちがいろいろなかたちで関係しています。当時の保護者の皆様のご苦労は、想像を絶するものがあったと思います。

日本で生活する限り、地震と共存しなくてはなりません。学校では、避難訓練等を通して、地震や火災の時にどうするのかを年5回訓練しています。ご家庭でもこの機会に、地震発生時にいる場所や時間によって、どうするのか、改めて確認してください。

3月19日(金)卒業式

3月といえば卒業式です。2月19日のプリントでお知らせしました。コロナウイルス感染症防止のため、親園小では、卒業生と5年生の参加で1年生から4年生は、お休みとします。

職員室玄関を入ると大太鼓の上に年度ごとの学級の写真が掲示してあります。令和2年度のパネルには、今年度の全学級が写っています。6年分が掲示してあります。一番奥の古いものは、6年生が1年生の時に、校庭で杉山先生と撮った写真、一番新しいものは、屋上で担任の山越先生と撮った写真です。



入学したての幼さが残る表情から、今年度6月に撮った写真を見ると卒業生の成長の跡がうかがえます。また、現在の様子は、違ったもので、子どもたちの成長の早さには、目を見張るものがあります。毎日会っていると感じないものですが、こうやって写真を見るとしみじみと感じられます。



6年生の廊下には、書写の授業で書いた、「感謝」の文字が掲示してあります。3月19日の卒業式には、今まで育ててくれたすべての方々に感謝の気持ちをもち巣立ってほしいと思います。

子どもたちの様子はホームページで

10月1日から親園小学校のホームページを公開しています。御家庭での話題にしていただけると幸いです。

アドレスは、

<https://ohtawara-city-chikasono-elementary-school.edumap.jp/>

です。



親園小